

就学期以降の ABA への取り組み方

2022. 9. 4 名古屋定例会
藤坂龍司

はじめに

小学校入学以降は、子どもの進路も、普通学級、支援学級、支援学校と、大きく分かれる。それに
応じて、教える内容や必要性、教え方も大きく異なるはず。だから、一概には言えない。

また支援の担い手も、幼児期には親の役割が大きかったのに対して、学校の先生や放課後デイの
スタッフの役割が大きくなる。

ただ、教え方の基本は変わらない。教えたことは、スモールステップ+プロンプト+強化で教え
る。問題行動は、消去+DRO で減らす。一言で言えばこれに尽きる。

1. わが家の場合

小学校は親の付添い付きで普通学級へ。そのまま小学校 6 年間で過ごし、中学校 3 年間も、同じく
付添い付きで普通学級へ。この 9 年間は、必要なことは、学校の勉強も、身辺自立も、主に親が教え
てきた、といってよい。付添いは登校から朝の会までが私、それ以降、下校までは家内が担当した。
家内は、下校後も、毎日 3 時間程度かけて、学校の勉強を教えた。

高校は支援学校高等部へ。それとともに、家内は付添いをやめ、学校の先生に指導を委ねること
になった。ただし放課後デイには行かず、放課後は家内が散歩させたり、中学までの勉強の復習をさせ
たりした。

<小中学校期に教えたこと>

○わが家の場合は、普通学級に通っていたので、そこでの学業について行かせることが最大の目的と
なった (DQ は 50~60)。

国語、算数、生活 (理科、社会)、家庭科、音楽、体育、図画工作。

○それ以外の学校生活に必要な様々なことも、できるだけついて行かせた。

- ・運動会、音楽会への参加
- ・休憩時間、ほかの子と遊ぶ
- ・給食
- ・朝の会

<その結果、できるようになったこと>

- ・漢字交じり文は、平均的な大人と同程度に読み、書ける。
- ・数の操作は、ほぼ確実 (例えば、「リボンを 50 枚切って」と指示されれば、50 枚切れる)。
- ・計量もできる (「小麦を 50g 量って」と言われれば、量れる。)

- ・包丁などの調理道具も、一通り使える。
- ・運動会や音楽発表会に、本番は援助なしでほぼフル参加できた。
- ・学校生活を送るうえで必要な我慢と協調性が身についた。

<学校以外では>

- ・身辺自立（入浴スキル、生理の処理など）
- ・交通安全（車を避け、信号で止まり、信号のない車道は車が来ない隙に渡る）
- ・ピアノを習わせた。

<その結果できるようになったこと>

- ・ピアノは発表会に出られるほどになった。
- ・道を一人で歩ける。渡れる。駅から家まで、一応一人で帰ることができる。
- ・身体は一人で洗えるようになったが、洗髪は未完成（洗い残しがあるので、親の仕上げが必要）

<教え方>

○ピアノを教える

1～4小節ずつ教える。

まず右手から。手拍子しながら音符を読む（2回）。→ 片手で弾く（2回）。

左手。手拍子しながら音符を読む。→ 左手で弾く。

↓

両手で。間違えても、無反応を貫く。微動だにしない。すべてのリアクションが罰になるから。

長すぎると判断したら、もっと短い単位で練習。

うまく弾けたら、温かくほめて解放する。

間違いは無反応を貫く。正解をほめる。
試行数は少なめに。こまめに休憩。
スモールステップ（課題を細分化）

○学校での支援

朝のルーティーン

ぐずぐずしていても、声はかけない（声かけに依存するから）。進んだらやさしく声かけ。

一つの動作が終わったタイミングですばやく次の動作をプロンプト。

半年～一年かけて、朝のルーティーンの自立を完成させた。

2. 支援学級・支援学校に通わせる場合、家で何を教えたらいいのか

○学業課題

算数：10以上の数。足し算、引き算、掛け算、割り算、分数、小数。数の単位、長さを測る。

国語：漢字の読みと書き。短文読解。

音楽：鍵盤ハーモニカ、リコーダー、音符の読み。一緒に歌を歌う。

支援学級の場合、やはり学業にある程度ついて行かせた方がよい。先生は国語や算数のプリントをやらせたがる。それができないと、問題行動につながる。

したがって、家で、引き続き、足し算、引き算、掛け算、割り算、数の単位、長さ、図形などを教えるとよい。国語は、漢字の読み書きを中心に、可能なら文章の読解も教える。

楽器も、発表会で足手まといにならないように、できれば鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹けるように。

○身辺自立

トイレ

・立小便。ズボンをぬらさない。ズボンを下ろさない。汚いところをさわらない。おちんちんに手を添えて、方向をコントロールする。

・大便。自分でドアを閉める。お尻を拭く。お水を流して、ズボンを履いて出て来る。

入浴

・身体を洗う。

・頭を洗う。

・身体を拭く。

・公衆浴場で、自分で服を脱ぎ、かごに入れ、身体を洗い、頭を洗い、湯船につかり、出てきて身体を拭き、服を着て、脱いだ服を持って出て来る。

宿泊スキル

小学校4年くらいになると、宿泊学習がある。その時までには自分でできるだけのことのできるように教える。

危険の回避：熱いものにさわらない、近づかない。

家事手伝い：洗濯物の片付け、食卓の配膳などを手伝えるように。

○交通安全・外出スキル

・車が来たら、端に避ける（車道と歩道の区別がない場合）。

・信号が青になったら、左右を見てから渡る。

・信号のない道を、車が来ない隙を見て、渡る。

・駅（学校）から家まで、一人で帰る。

・鍵の操作（家の鍵をなくさずに持っておき、自分で開けて、保管すべきところに保管する）

・迷子になった時、誰か大人を捕まえて「迷子になりました」などと言える。

・公衆トイレに自分で入って、中から鍵を閉めて、自分で用を足して、鍵を開けて出て来れる。

○お買い物

- ・レジの列に並べる（前の人が進んだら列を詰める）
- ・レジに来たら、買いたいものを、レジカウンターに置く。
- ・指示された金額より多い額を置く。あるいはプリペイドカードを使う。
- ・お釣りと品物を受け取る。
- ・買い物袋に、買った物を入れる。

○余暇スキル

- ・ゲーム機の操作。
- ・絵を描く。工作をする。
- ・You Tube などの操作（動画を見る、音楽を聴く）
- ・パズルをする。

○運動スキル

- ・なわとび
- ・鉄棒
- ・トラックに沿って走る。速く走る。人を追い抜く。バトンを渡す。
- ・自転車

○労働とその対価

- ・お手伝いをして、お小遣いをもらい、それを貯めて、好きなものを買う。